

看取り介護について

介護職として人生の最期をどう関わっていくのかを考える

特別養護老人ホーム友愛苑

○白井 康裕

嶋田 美由紀

岩西 均

山中 浩由



＜運営理念＞

「いこい」と「うるおい」のある愛せる施設をつくる

＜運営基本方針＞

1. 自己決定権の尊重・残存能力の活用・生活の継続性を基本としたサービスの提供
2. 利用者と職員が人としての幸せを共に喜び感動し、生命の尊さと優しさを感じる
ことのできる生活空間を創る
3. 地域の中で、地域の人に信頼していただける、開かれた施設を目指し福祉の町づくりに貢献する

友愛苑での『看取り』とは

- 食事摂取が困難となり、医師が老衰と判断した場合、家族との話し合いの上、身体的苦痛を最小限とした、苑で出来る医療行為を行っている
- 症状に応じて、医師が回復の見込みがあると判断した場合は、家族との話し合いの上、医療現場に繋げている（病院受診）



事例 1



K・M様

- ☑ 90歳 女性 乳がん術後
- ☑ 要介護度 4
- ☑ K病院緩和ケア病棟に入院
令和6年3月、友愛苑に入所
お話しが好き

家族の気持ちに変化

入所

内服の調整

覚醒状態良くなり
発語が増え、自ら
コールを押す

意識の
混乱

状況が分から
ず混乱。見当
識障害が顕著
にみられ介護
抵抗がある

精神・身
体の状態
が安定

本人の思い
訴えの汲み
取り

外出

真田祭に
参加

他界

亡くなる
前日まで
普段と変
わらず過
ごす

偲びの会

事例 2



T・M様

☑ 95歳 女性

☑ 要介護度 5

☑ 平成22年12月入所

認知症により在宅生活困難となり、サービス付き高齢者向け住宅を経て当苑入所となる

入所

コロナ
感染

状態悪化

看取り
対応

経口摂取困難と
なる

精神的
ケア

ターミナル面会
開始
居室の飾りつけ
家族に対しこま
めに状態報告

身体的
ケア

エアマット導入
口腔内の性状
に応じた口腔
ケアの実施
吸引

新たな取り組み

チーム
カンファ
レンス

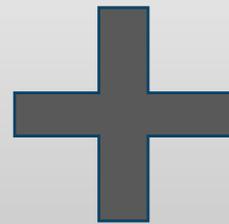
カンファレンスを
実施、チームケ
ア実施

他界

苑の看取りの流れ

過去

- 個室に移動
- 音楽を流す
- 環境整備
- 偲びの会



今回

- カンファレンス
- 情報共有
- ケアの統一
- 偲びの会



皆さんは、在宅や施設での看取り
に関してどのタイミングで準備を
行いますか？

また、どのようにして医療者や介
護職が連携をとり終末期ケアを提
供することができますか？



ご清聴ありがとうございました

